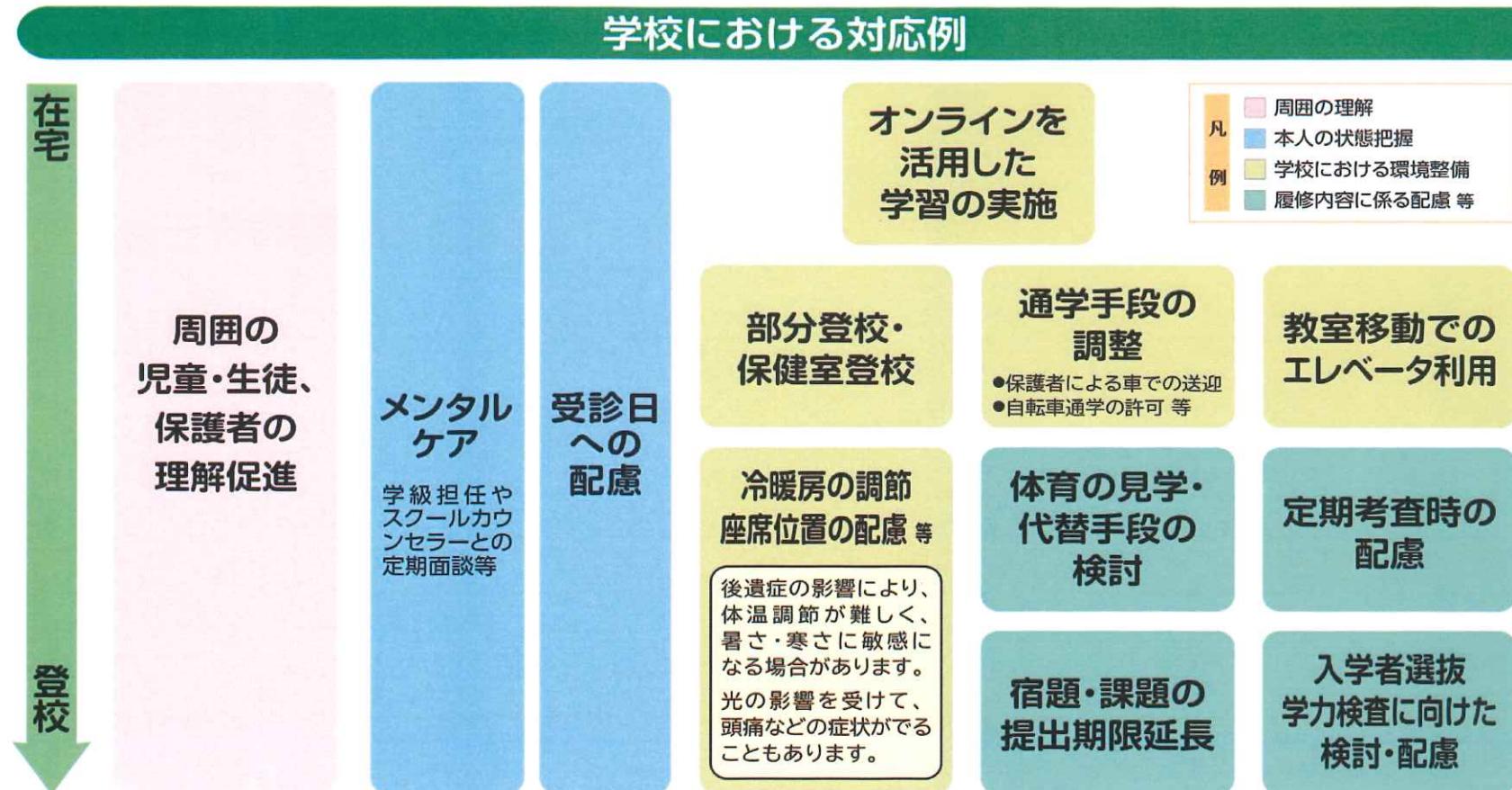


3 後遺症への対応

学校による対応・配慮の具体例

後遺症に悩む児童・生徒や保護者が具体的に困っていることを面談等を通じて把握し、各学校で実施可能な配慮について検討します。児童・生徒の訴えをよく聞き、共感的な態度で接して、体調や訴えに合わせて無理をさせないことが重要です。



新型コロナウイルス感染症の 罹患後症状でお困りの方へ



新型コロナウイルス感染症に罹った後の、さまざまな症状（罹患後症状、いわゆる後遺症）でお困りの方々に、普段の生活で心がけていただくことなどをまとめました。
ぜひお読みください。

新型コロナの罹患後症状とは？

世界保健機関（WHO）は、「新型コロナウイルスに感染した人にみられ、少なくとも2ヶ月以上続き、他の病気による症状としては説明がつかないもの。通常は発症から3ヶ月経った時点にもみられる」としています¹⁾。

どんな症状がありますか？

- ・疲れやすい・だるい
- ・咳・息苦しい
- ・集中力が低下する・ブレインフォグ（頭の中に霧がかかったような状態）がよくみられる症状です。
＊このほかに「眠れない」、「においや味を感じない」、「頭が痛い」など、さまざまな症状があり、複数の症状が現れることもあります^{2,3)}。

いつ治るのでしょうか？

時間の経過とともに良くなることが多いですが、改善と悪化を繰り返すこともあります。また、回復には個人差があります。

治療は？ 生活の注意点は？

個々の症状に応じた対症療法を行います。無理せずしっかりと休養を取ることが大切です。

利用できる制度は？

個人の状況により、傷病手当金、労災保険、障害年金等の対象となる可能性があります。

詳細はリンク先の
Q&A の Q14 をご
覧下さい



●参考文献●

- 1) <https://www.who.int/teams/health-care-readiness/post-covid-19-condition>
- 2) 厚生労働行政推進調査事業班および門田班
- 3) 厚生労働科学特別研究事業横山班